

# 文化部3年間の集大成 鮮やかに飾る「有終の美」



MIKATA  
Koukou  
Shimbun

**調理部**  
心を込めた一皿

六月二十一日、なびあすで調理部による「たまたごカフェ」がオープンした。メニューはてりやきオムライス、ツナマヨごぼうサラダ、ほうじ茶プリンの三種類でプレートに盛り付けられ提供された。ドリンクはホットコーヒー、アイスコーヒー、レモンスカッシュ、レモネードの四種類。各ドリ



オープン準備中の調理部

豪華オムライスプレート



ンクを頼むとセットでニンジンクッキーがついてきた。カフェを訪れたお客さんは「照り焼き風味のオムライスに大葉のアクセントが効いていてとてもおいしい」と笑顔で話した。デザートのほうじ茶プリンは柔らかな食感で大変好評だった。部長の坂本葵さんは「クラスの友人や地域の方々からおいしいと好評を頂けてよかった。三年生が抜けるので今以

## かるた部 磨き上げた集中力

かるた部は、福井県高等学校かるた大会（四月二十七日）に参加した。一試合目は若狭高校と対戦し、二年生は難なく勝利を収め、一年生も初の大会でありながら懸命に戦った。しかし経験者である相手校も強く、最後まで粘り強く戦ったが一步届かず、二・三で惜しくも敗退した。

また、日本三大会の一つでもある全国女流選上に周りを見て行動していきたい」と意気込みを語った。

副顧問の松永先生は「代替わりをして初めてのカフェで二年生にすべてを任せましたが、発注ミスなど準備不足を感じる点が多かった。九月にオープンする二年生主体のカフェでは今回の反省を生かして取り組んでほしい」と振り返った。

この調理部のカフェは月に一回程度なびあすを借りて実施しているもので七月は四月に好評だった「さかなカフェ」が開催される。



日々の練習風景

手権大会（五月三十一日・六月一日）では、二年生の片山洵奈さんがB級の部で優勝し、二年生の上前陽美さんがE級の部で準優勝を果たした。片山さんは今回の大会でA級に昇格し、県内の高校生で二人目のA級保持者となった。A級はかるた界で上位2%のみの階級であり、かるた部エースである彼女の今後の活躍に大いに期待したい。

大会を振り返って片山さんは、「強者がたくさんいる中で優勝できてよかった。今回の女流戦は着物を新調して試合に臨み、A級にも昇格もすることができた良い大会となった。次の大会でも、優勝目指して頑張りたい」と語った。また、顧問の山川先生は、「四月の大



試合前の静けさ

会は、みんな粘り強く戦った良い試合だった。今回の大会も頑張った。次の女流戦はとてすごい試合だった。A級はプロ並みの階級なので、将来有望で楽しみだ。一年生も二年生も秋の大会は個人戦なので、できるだけ勝ち点を増やし、優勝目指して頑張りたい」とエールを送った。

七月に控える小倉百人一首大会について片山さんは「初めてのA級昇格後の大会でレベルの高い人が多いので、全力でぶつかりたい」と意気込んでいる。同じく大会に参加する竹森莉彩良さんは「相手手を攻めまくって一回戦突破を目指したい。賞状を持って帰りたい」とやる気を見せた。

## 茶道部 心落ち着く お点前披露

六月九日に茶道部の茶会が大会議室で開かれ、多くの先生方にお抹茶とお菓子が振舞われた。茶道部は二年生十名、一年生二名で活動している。二年生は初めてのお茶会だったが一つ一つの作法を丁寧にこなし、先生方はその振舞いに見入っていた。



丁寧にお手前を披露する部員

く和んだ。またの機会を楽しみにしている。と嬉しそうに話した。吉岡直哉先生は「毎年あるお茶会にまた参加できてよかった。作法も改めて勉強になり、少し苦いお茶も美味しくいただいた」と語った。

部長の時岡千夏さんは「お点前では、みんな練習の成果を発揮して落ち着いて披露することができていて良かった。人前でお点前を披露することは緊張したが皆さんの先生方に来ていただき、練習の成果を発揮できてよかった。次回のお茶会は、今回の反省点を生かして、より良いものになるように、これから頑張っていきたい」と話した。

顧問の小林先生は「稽古の成果を出せていて良かった。まだまだ未熟なので来



お茶を味わう大橋先生

## 美術部 色と形で想いを表現

年に向けて頑張ってきた」と述べた。茶道部では週に一度、外部講師の河村先生と中川先生をお迎えし、礼儀作法を含めたお点前の稽古が行われている。来年的にお茶会でも見事なお点前を披露してくれることを楽しみにしている。

第四十四回敦賀市総合美術展が六月二十二日から二十九日にかけてプラザ万象で開催された。三年生にとっては最後、一年生にとっては初めての公募展となった。美術部は、約二か月前から敦賀市総合美術展に向けて自分たちのペースで作業を進めた。締め切り間際には部員一人ひとりがぎりぎりまで集中して取り組む姿が見られた。部長の玉井伶央さんは三年間の部活動を振り返り「美術部で色々な絵の描き方や表現の仕方を知る

## 写真部 「らしさ」を貫く

小浜市美展、敦賀市美展に写真部十七名が出品した。小浜市美展では、奨励賞二作品、敦賀市美展では、敦賀市文化会館協会賞一作品、奨励賞二作品に入賞した。顧問の堀川先生は、「今年も皆の写真にはそれぞれの『らしさ』と物語が表れていた。一年生からの入賞や敦賀市文化会館協会賞の受賞は日々の努力の結果だと思う。これからも自分の撮りたい気持ちを感じて撮り続けて欲しい」と語った。（以下入賞者のコメント）



市美展に向けて最後の仕上げ中！

ことができた」と語り、二年生に向けて「部長になる人や副部長になる人など色々な立場の人がいると思うけどまずは楽しむことを

（小浜市美展入賞者）  
福島望生さん「ライต์アップされた桜と天守閣が生み出す幻想的な雰囲気は時が止まったような感じで、慎重にシャッターをきった」  
音海朱里さん「きれいな緑の葉っぱとカタツムリのヌメツとした感じがよく撮れていたのが賞を撮れてとても嬉しかった」  
（敦賀市美展入賞者）  
濱崎那由多さん「静謐という言葉は、静かで安らかなこと、とあり、静かで落ち着いた青を表すの



敦賀市文化会館協会賞  
「静謐な青」

にびったりだと思い、このタイトルにした」  
山口緋鶴さん「鏡の中に懐かしい思い出が写っているということを表現したいなと思ったのでこのタイトルにした」  
知場楓さん「置物の二体の人形が、まるで夕日の綺麗な時間に待ち合わせ、なにか懐かしい話でもしているかのように思えたのでシャッターを切った」

大事にしてこれからも頑張っていきたい」とエールを送った。顧問の長塚先生は敦賀市総合美術展を振り返り「搬入までに作品が仕上がるかひやひやしたが、全員が気力を一二〇パーセント出し切り無事出展できた。各々の好みで表れたバラエティーに富んだ作品群になった。お疲れ様でした！」と話した。

一、二年生に向けて「人数は減りますが、仲の良さと団結力で楽しくにぎやかにアートしてくれることを期待しています！」と語った。

【敦賀市総合美術展 結果】  
堀越 花さん  
奨励賞